



加茂小学校校報第〔13〕号

嬢 村尾 隆晃

加茂っ子



か も だ い す き

も り も り げ ん き

の び の び や さ し い

こ つ こ つ ま な ぶ

令和4年7月13日

修学旅行 へ行ってきました!!



7月7日(木)～7月8日(金)6年生が、県西部津和野・浜田方面へ修学旅行に行ってきました。長引くコロナ禍の中、旅行当日まで実施できるかどうか心配しましたが、各家庭の感染防止へのご配慮や6年生の感染拡大防止に対する意識の高さによって、何とか実施することができました。心配していた天候も何とかもち、子どもたち一人一人の思い出に残る修学旅行となりました。私(校長)は団長として同行しましたが、2日間ともみんなが仲良く笑顔いっぱいとても気持ちのよい旅行ができました。

1日目は、津和野の太鼓谷稲成に参詣して、昼食。山陰の小京都、津和野の街並散策とショッピング、午後は、浜田市の旭盲導犬訓練センターを見学しました。宿泊は、浜田ワシントンホテルプラザでした。ほとんどの子が、ホテルのシングルルームでの宿泊は初体験で、ホテルの使い方説明の時にも真剣な面持ちでした。食事やあいさつのマナーも良く、心配していた部屋の中にカードキーを入れたまま忘れて出てしまうこともありませんでした。2日目は、かなぎウェスタンライディングパークで乗馬体験や餌やり体験、馬のブラッシングを体験しました。午後は、島根海洋館アクアスを訪れ、白イルカショーを楽しみました。また、しまねっこクーポン2千円分を



ここでつかってしまわないと、紙切れになってしまうということで懸命にお土産を選ぶ姿を微笑ましく見守っていました。その後、福光の石切場の見学をし、大田市五十猛町の和田珍味に立ち寄りしました。和田珍味は、2組担任の朝日山教諭の奥様のご実家が経営しているしゃる会社ですが、子どもたち一人一人と引率教員合わせて50人分のソフトクリームをご馳走していただきました。濃厚でとても美味しかったです。



修学旅行のカメラマンとして2日間で、約200枚の6年生の生き生きとした楽しそうな表情を撮ることができました。経費・行き先・宿泊地等々について6年生担任は、子どもたちにとって小学校生活最高の思い出となるようにいろいろと頭を悩ませたことと思います。加茂小学校OBで一畑トラベルサービスの今岡さん・杉原さんには細

やかな気配りをしていただきました。この度の修学旅行でお世話になった全ての方々に感謝感謝です。

ヒロシマでの平和学習を盛り込むことができなかったことは残念でしたが、コロナの状況をみながら9月の終わり頃に、We Love山陰キャンペーンの助成金を有効活用し、平和学習をねらいとした日帰り遠足ができるように考えたいと思います。



【6年生の感想：自分のタブレットで入力した感想をデータで提出した感想（大作）です】

◇ ずっとずっと楽しみにしていた修学旅行が昨日、終わってしまいました。「どんなお土産を買おうかな？」「どんなものがあるのかな？」など小学校生活一度しかない修学旅行だれよりも楽しみにしていました。

7月7日ついに当日。バスに乗って出発！

思い出

目的地までの休憩場所でもみんなと一緒に写真を撮ったり、いろいろ楽しみました。

そして最初の目的地の太鼓谷稲成神社でも集合写真をたくさん撮ったり、友達とおみくじをしたり神社ならではのことをしました。

次に沙羅の木で昼ご飯を食べました。津和野の特産品白いこんにゃくの刺身など津和野ならではのものが食べられてよかったです。昼ご飯が終わったらお楽しみの散策時間！

6班では昼ご飯を食べたところの1階にあるお土産屋さんでお土産にする源氏巻を買いました。お土産を買ったら、食べ物を食べに行きました。私は食べていないけど班のみんなはかき氷や、アイス食べていました。

次に島根あさひ訓練センターへ行きました。盲導犬のこと、視覚障がいのことについて初めて知ることがたくさんありました。～中略～

そして一日目、最後の目的地。浜田ワシントンホテルプラザ！～中略～修学旅行の中でも私が特に楽しみにしていた場所でした。自由時間では、ゆかさんの部屋でまいかさんと一緒にテレビを見たり、みんなでトランプをしたりして自由時間を過ごしました。そして自由時間が終わったら、お風呂に入り、寝ました。早く寝れるか心配だったけど、10時には寝ることができました。

7月8日。

起床時間は6時45分だったけど、私は5時半に起きました。起きてからは、テレビを見ながらのんびり過ごしたり顔を洗ったり、着替えたりしました。朝食会場に行くまでは、部屋からは出てはいけないうどガタガタと音がしたのでドアを開けると、みんなが顔を出していました。みんなで「おはよう！」と言い合い先生にバレないようにしていたけど友達がインキーして結局先生に見つかり、怒られました。でも、そういう事にずっと憧れていたのでもとても楽しかったです！～中略～



かなぎウエスタンライディングパークに着いてからは不安がたくさんありました。動物を見るのは好きだけど、触ったりすることは苦手だからです。でも馬に乗ってから「可愛い！」と思うようになり、ブラッシングは安心してできました。馬を触るととてもサラサラしていてびっくりしました！でも、エサやりは怖くて、ほとんどひめかさんにやってもらいました…。でも最後の一本は怖い怖いと言いながら、自分でやりました。

そしてついについに一番たのみにしていたアクアス！！！！シロイルカのショーが始まるまではまいかさんと一緒にお土産ショップで買い物しました。みんなで食べるお菓子を選んだりもしました。そしてアクアスといえばのシロイルカショー！まいかさんと早めに行って、前の方の席に座りました。シーリヤとミーリヤとケーリヤ、それぞれの特技やバブルリングを見られてよかったです。

ショーが終わったら買い物2回戦！！！！

妹や弟、お父さんへのキーホルダーやお母さんへのタオル、おじいちゃんおばあちゃんへの箸置き、塾の先生へのお菓子…たくさんのお土産を買いましたが、魚などは何も見られませんでした…。

その後福光石のところへ行きました。初めて見る大きさの石や道具にびっくりしました。洞窟の中はすごく涼しくてすごく深い穴のようなところなど福光石の歴史などをたくさん知れました。

そして最後の目的地。和田珍味へ行きました。何よりもあおと君（朝日山先生のお子さん）が可愛かったです！

この二日間で班長として時間を気にしたり、班のみんなをまとめたり自分の仕事に責任をもち、過ごせたと思います。

一生に一度の小学校での修学旅行！6年生全員でしっかり楽しめたので良かったと思います。これからの生活でも時間を常に気にしたり、あいさつを自分から進んでしたりなど加茂小の顔として恥ずかしくないように、全校のお手本になるように、修学旅行で身につけた力をしっかり意識していきたいです。（602藤本多美さん）

◇ 私は修学旅行で、島根のいいところをたくさん知ることができました。
 普段、島根の石見地方のほうにあまり行かないので津和野町のことをよく知りませんでした。
 でも、班で津和野町のことを調べていくにあたって有名な観光スポットのことを知ることができ、お土産で源氏巻が有名なことも知れて、津和野町のことを知ることができました。

私の係は班長でした。班の全体をまとめなければいけないので、すごく大変だと思っていました。でも、班のみんなが意見を言うてくれたので、まとめやすかったです。なので、津和野散策の計画もなかなか決まらないと思っていたら、思っていたよりも早く決まりました。

沙羅の木 松韻亭さんでの昼食はがとても美味しかったです。津和野散策で、鯉の餌やりやお土産を買ったりしました。街並みが、本当に和でとても綺麗で昔の街並みのようで、落ち着く雰囲気でした。

3、4年生のころに盲導犬のことは学びましたが、実際に盲導犬の行動を見て、訓練センターの職員さんのお話を聞けて、授業でやったことよりもさらに詳しいことを知ることができました。もし、今後盲導犬ユーザーさんに出会った時にどのようなことをすればいいかも分かったので、学んだことを生かしていきたいです。

ホテルでの夕食が、とても高級感があり綺麗だったし美味しかったです。自由時間も皆で遊べて楽しかったです。お風呂に一人で入ると、一人で寝ることが少し心配でしたが、大丈夫でした。朝食もとても美味しかったです。



私は、あまり馬に乗ったことがないので、最初は少し怖かったけど乗ってみると凄くずっしりしていて全く怖くありませんでした。両手を放すこともできました。餌やりは少し怖かったけど、食べている姿が可愛かったです。ブラッシング体験の時に、毛に触ってみたらとても綺麗な毛並みをしていました。ブラッシング中に急に糞をしたので驚きましたが、馬は草や野菜しか食べないので馬の糞は臭くなく、緑色っぽかったです。馬はとても大きくて、かっこよかったしかわいかったです。



アクアスで、自由時間お土産を買っていたので、あまり魚を見ることはできませんでした。でも、シロイルカショーがとても可愛かったです。バブルリングやマジックリングはアクアスでしか見ることができないので、凄いものを見たと思いました。



福光石の石切り場は、本当に人が掘ったのか疑うほどの大きさが掘られていて昔の人はこれを手作業で掘っていたのですごいと思いました。

和田珍味さんで、頂いたソフトクリームが濃厚でとてもおいしかったです。

修学旅行で知らなかった**島根の魅力、凄さを知ることができました**。2日目に雨が降らなくて本当に良かったです。**皆で一緒に楽しむことができたし**、この修学旅行は、すごく思い出に残りました。中学生になっても修学旅行があるといいです。(6の1嘉本帆希さん)

早速お手紙をいただきありがとうございました！

◇ 前回の12号（学校の働き方改革特集号）への反響を早速にいただきました。元気の出るお手紙を届けていただき、本当にありがとうございました。拙い校報ではありますが、時間をかけてつくった甲斐があったとうれしく思いました。また、保護者や家庭や地域は「理解を示すだけでよいのか？」との前向きなご意見もいただき、たいへん心強く思いました。多くの保護者や地域の方がこのお手紙のように真剣に学校教育のことを考えてくださる加茂町であると信じてこれからも教員の働き方改革をはじめとする様々な教育課題に真正面から向き合っていく決意です。「加茂っ子」の誌面にて匿名で紹介させていただく旨、承諾を得ましたので掲載します。

村尾校長先生

平素より子どもたちが大変お世話になっております。
 突然のお手紙、申し訳ありません。



この度の「加茂っ子」のお便りを読ませていただき、校長先生の強い決意を感じました。教員の長時間労働については、以前よりメディア等でも耳にしておりましたが、お便りのような実態が我が子の通う学校においても存在していることは十分に知りませんでした。そして、連絡帳の記入について先生方にご負担をおかけしてしまっていたことを反省しました。このような気づきの機会を与えてくださってありがとうございます。

校長先生の言われる通り、子どもも多くのストレスを抱える今だからこそ、「教員が心身ともに健康で子どもと笑顔で向き合う」「子どもに自信とゆとりをもって向き合う」ことが大切であろうかと思います。それは教員のみならず、保護者、地域全体がそうであるべきだとは思いますが、「教員の働き方改革」はまさにその出発点になる重要な取り組みだと感じました。

そこで、「加茂小学校の今後の取り組み」について、一点意見を言わせてください。この取り組みの中で、保護者や家庭は「理解を示す」だけの存在でよいのでしょうか。今回のお便りを読んだとき、地域の医療を守るために住民たちが当事者として「コンビニ受診を控えよう」「かかりつけ医を持とう」などのスローガンを掲げて住民の意識づけ行った活動を思い出しました。これと同じように先生方が心身ともに健康で自信とゆとりをもって子どもたちと向き合える環境をつくることは地域全体の責任でもあると思うのです。

「アイディアを皆で出し合う、こんなことできっこないはNG」という部分、とても素晴らしいと思いました。今までの『当たり前』の意味をもう一度問い直す作業をするうえで、様々な立場からの見方も必要のように思います。(具体的にどのような方法で？と言われるとなかなか難しいですが。)

先生のお便りを読んで思いのままに一気にお手紙を書いてしまいました。意味不明な点も多くて申し訳ありません。ぜひ、地域を巻き込んだ「働き方改革」となりますように。

先生方が笑顔でいてくださることがこの地域の力になると思っています。

わが子の夢は「小学校の先生になること」です。その夢を持ち続け、夢が叶い、笑顔で子どもたちに向き合い続けることのできる先生になれますようにと願っています。 保護者氏名 匿名

和太鼓演奏の今福座のみなさんからも…

◇ もう一件、先日の『今福座のみなさんによる和太鼓演奏』についてのアンケートに学校便りをそえて送ったところ、島根県民会館芸術家学校派遣事業の担当の野村晶美さんから次のような返信がありました。加茂小学校の5・6年生の子どもたちの鑑賞の仕方や話の聴き方をほめていただきました。本当に誇らしいことです。以下に紹介します。

アンケート、「加茂っ子便り」をお送りいただきありがとうございます。

今福座の皆さんにもお送りしたところ、今福さんからお礼のお電話をいただきました。

伝えたいことがきちんと伝わっていたこと、それを前向きに捉えてくれていたことにとっても感動されていました。学校によっては「話を聞いてないな、届いていないな」と感じることもあるそうですが演奏も話も一生懸命聞いている姿勢も嬉しかったとおっしゃっていました。

体力が続く限りこの活動を続けていきたいと気持ちを新たにされていました。

